

**SONY**

# Sony IR Day 2015

## モバイル・コミュニケーション分野

2015年5月27日

ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社 代表取締役社長 兼 CEO  
ソニー株式会社 グループ役員

**十時 裕樹**

## 目次

モバイル・コミュニケーション分野

### 1. 2014年度の総括

- ・ 2014年度の実績

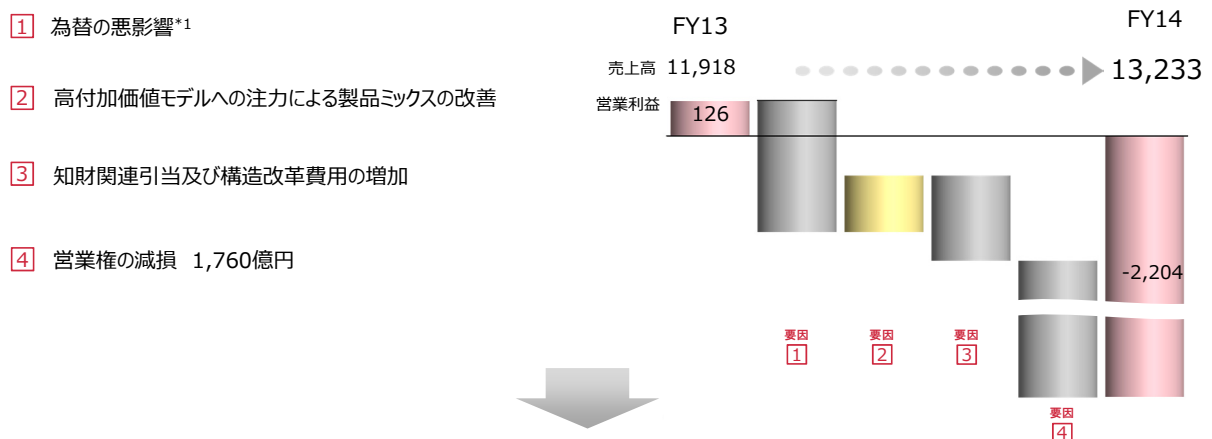
### 2. 2015年度の取り組み

- ・ スマートフォン市場の見通し
- ・ 経営方針
- ・ 主な重点施策
- ・ 経営数値

### 3. 参考資料

# 1. 2014年度の総括

## 2014年度 営業利益変動要因（前年度比）

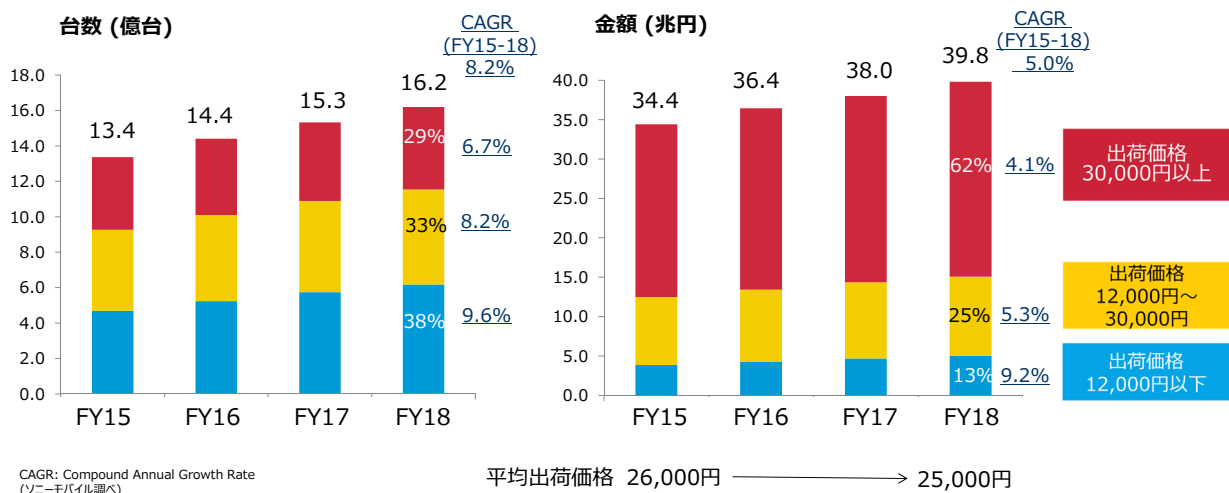


高付加価値モデルへの注力による製品ミックスの改善があるものの、営業権の減損の実施、為替の悪影響、知財関連引当及び構造改革費用の増加に伴い大幅減益

\*1: 2014年度実績における通貨別売上高及びコストの金額を元に為替変動による前年度比影響額を試算

## 2. 2015年度の取り組み

### スマートフォン市場の見通し (価格帯別)

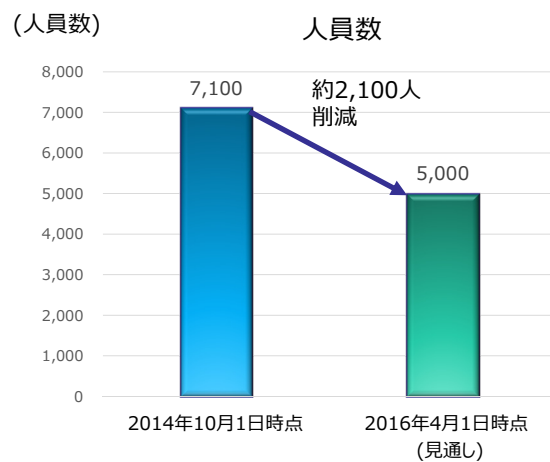
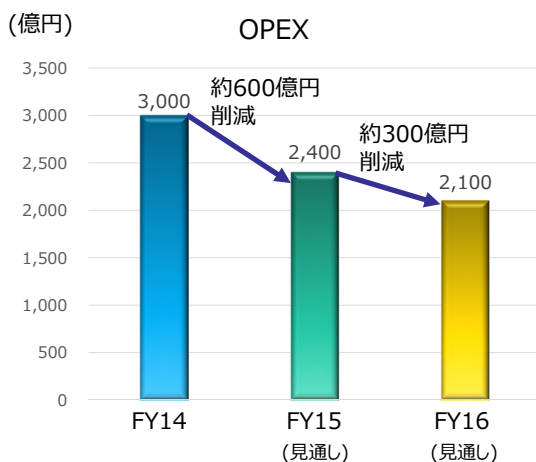


金額ベースで過半を占める高価格帯は相対的に市場の安定が想定されるものの  
低価格帯の成長が著しいことにより、市場全体で僅かな単価下落を見込む

- 2016年度に黒字化を実現するための構造改革完遂
- 商品モデル数の削減による経営資源の集中化と2016年度以降に向けての技術の仕込みと商品力強化
- 各地域の位置付けの明確化と収益管理の強化
- 新規ビジネスへの積極的な取り組み

**既存スマートフォンビジネスの事業基盤強化と  
スマートフォンの周辺機会を捉えた新規ビジネスへの投資**

**構造改革の推進**



**組織階層の削減：**  
**組織の重複を避け、簡素化：**  
**本社機能は、東京へ集約：**

**CEO以下の組織階層を、8から6へ削減**  
**トップから第2階層迄のユニットを43から32へ削減**  
**32ユニットのうち20ユニットは、東京を拠点とする**

## 2015年度上半期の主なXperia商品

モバイル・コミュニケーション分野

プレミアム  
セグメント

### XPERIA Z4



#### 主な特徴

- ・上質感と機能性を追求したこだわりのデザイン
- ・広角25mmメイン/フロントカメラ搭載
- ・LDAC™対応による高品質な音楽体験の提供

スーパーミッド  
セグメント

### XPERIA M4 Aqua



- ・IP65/68に対応した優れた防水性能
- ・長時間使えるバッテリー搭載
- ・洗練されたデザイン

タブレット  
セグメント

### XPERIA Z4 Tablet

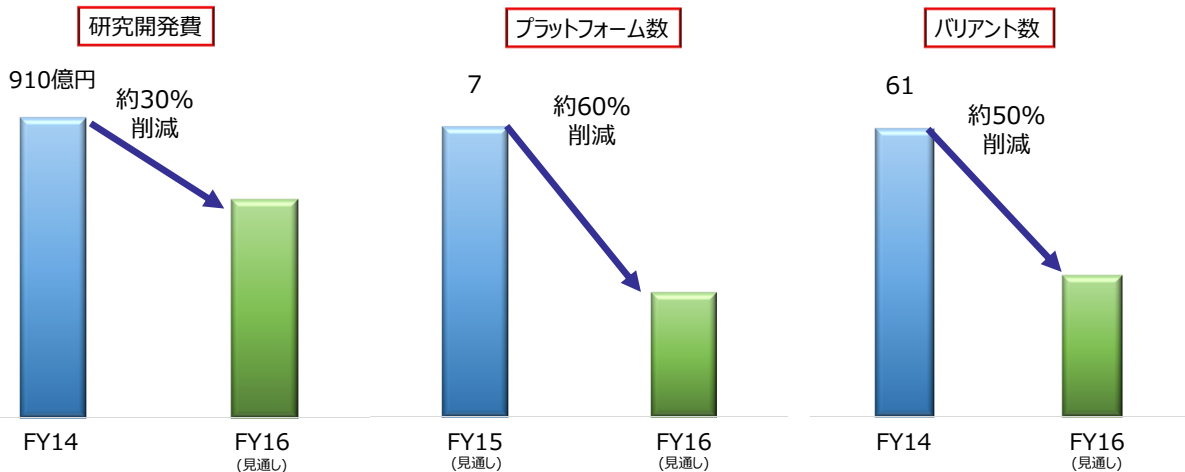


- ・世界最薄、最軽量
- ・最新のCPU/OSを搭載
- ・IP65/68に対応した優れた防水性能

Sony IR Day 2015 | 22

## 商品モデル数の削減による経営資源の集中化の例示

モバイル・コミュニケーション分野

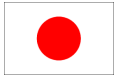


1モデルあたりの経営資源を集中し、開発の効率化を図る

Sony IR Day 2015 | 23

## 各地域の位置づけの明確化

モバイル・コミュニケーション分野



日本は、収益性の高い最重要地域として、引き続き収益性を確保すると共に、事業基盤を活用して新規事業展開の場として位置づける



欧州は、他地域と比較してシェアが高いものの、収益性が低い現状を鑑み、商品モデルミックスの改善と収益管理の強化により、収益性を向上させる



中国は、既に事業規模を大幅に縮小し、限定されたチャネルを基に最小限の費用で事業を展開する



米州は、事業展開するオペレーターを集中し、かつ高付加価値帯商品のみでの展開により、赤字を最小限化する

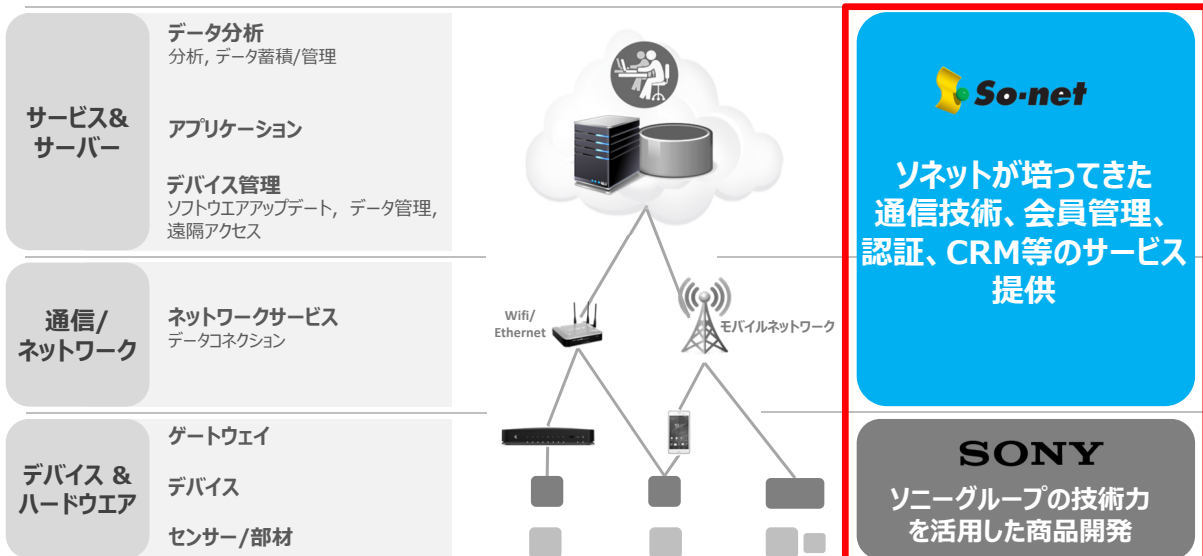
13の営業組織を5つの地域に分け、地域毎に最適なセールスマーケティング戦略を構築し、それぞれの投資効率を高め、収益管理を強化する

Sony IR Day 2015 | 24

## Internet of Things(IoT)における基本戦略

モバイル・コミュニケーション分野

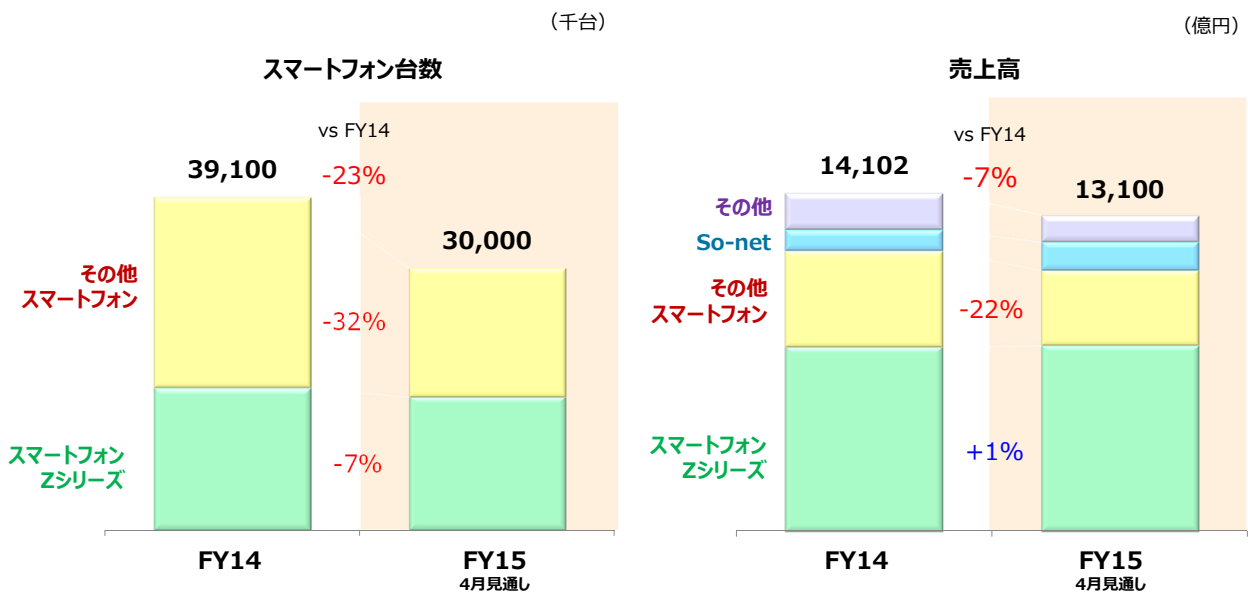
ソニーモバイル、ソネット一体となった事業展開



Sony IR Day 2015 | 25

- ソニーモバイル版Seed Acceleration Programの展開
- IoT市場を見据え、コミュニケーションを核としたスマート・プロダクツの展開の加速
- ソネット株式会社との協業によるB2B市場への参入とリカーリングビジネスへの取り組み強化

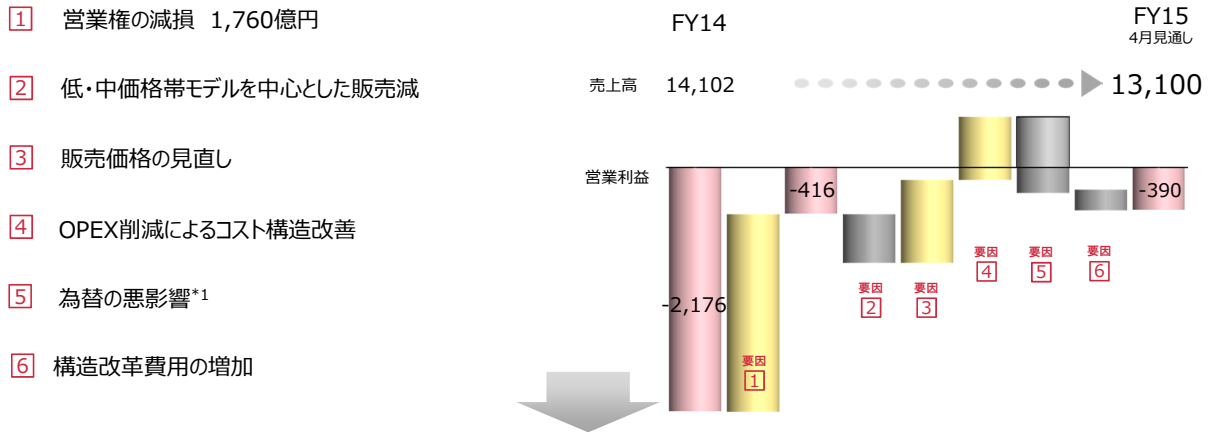
売上トレンド (2014年度/2015年度)



・ 売上高はその他分野から移管したソネット株式会社及びその子会社を含むベース

## 2015年度 営業利益変動要因（前年度比）

モバイル・コミュニケーション分野  
(億円)



数量に頼らずとも利益を確保する事業構造の実現をめざし、2015年度中に構造改革を完遂する。  
2015年度で事業構造改革の効果を得るものの、構造改革費用の増加と為替の悪影響により  
若干の損失縮小の見直し。(営業権の減損の影響を除く)

・売上高及び営業利益はその他分野から移管したソネット株式会社及びその子会社を含むベース  
・各分野の2015年度の見直しは1米ドル118円前後、1ユーロ136円前後で作成  
\*1: 2015年度事業計画における通貨別売上高及びコストの金額を元に為替変動による前年度比影響額を試算

Sony IR Day 2015 | 28

モバイル・コミュニケーション分野

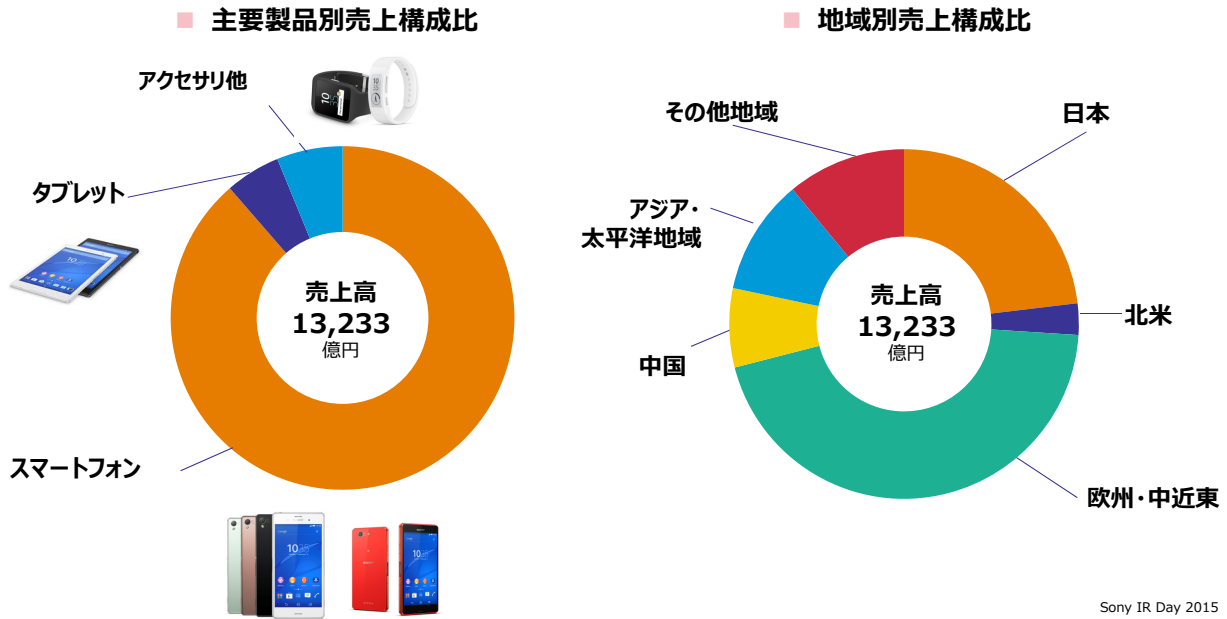
## 3. 参考資料

Sony IR Day 2015 | 29



## 2014年度 主要製品別・地域別売上構成比

モバイル・コミュニケーション分野

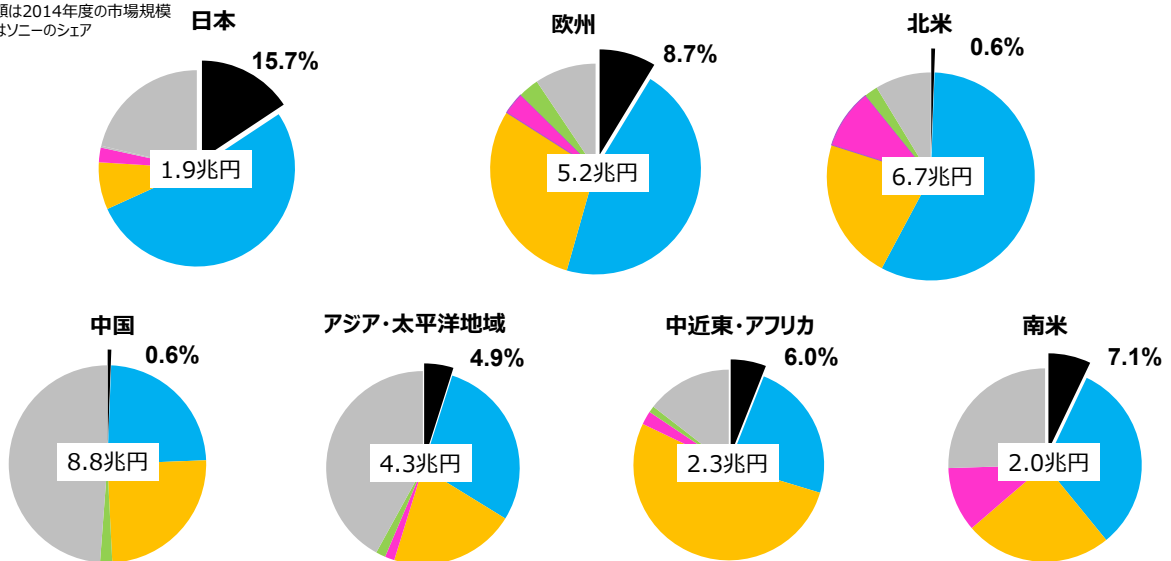


Sony IR Day 2015 | 30

## 2014年度 スマートフォン地域別シェア（金額ベース）

モバイル・コミュニケーション分野

※金額は2014年度の市場規模  
%はソニーのシェア



(ソニーモバイル調べ)

Sony IR Day 2015 | 31